学び合い　認め合い　笑顔輝く　都田西っ子　　令和元年８月２７日

学校だより８・９月号

安心・安全で、確かな学びの場をめざして

校長　三橋　淳子

今日から前期後半がスタートします。７月末に梅雨が明けた後は猛暑の日が続きましたが、子ども達は元気に生活しているだろうかと思いながら８月を過ごして参りました。また、いくつかの地域のお祭りなどに参加させていただきましたが、どの地域の皆様も学校を温かく見守ってくださっていることをとてもありがたく思いました。

夏休みに入る前の日の朝会では、「あいさつをすること」「挑戦すること」「家の手伝いをすること」「自分の身は自分で守ること」について、それぞれしっかり取り組んでほしいと話しました。保護者の方、地域の方から見た子ども達の様子はいかがだったでしょうか。

【安全に生活できるようにするために】

「自分の身を守る」については、７月号の学校だよりでも触れさせていただきましたが、学校では、防災、防犯、交通安全を中心に、引き続き安全についての指導を重ねて参ります。ご家庭でも、災害発生時など、いざというときにどのようにすればよいか、お子さんとよく話をしていただきたいと思います。

また、不審者情報等は神奈川県警の「ピーガルくん子ども安全メール」等をご活用いただきたいとお伝えいたしましたが、今後も本校の子ども達の安全に関わることで心配なことがありましたら、状況に応じてお便りやメール配信等で保護者の皆様にお知らせいたします。

なお、その際は必ず近隣校、区校長会、学校警察連絡協議会（学警連）、都筑警察署、都筑区役所、その他必要と考えられる関係機関と相談いたします。その結果として発信が必要であると判断いたしました「情報」は学警連を通しての発信となりますので、信頼できるものであるとともに、全ての子ども達を守るためのものであることをご理解いただければと思います。

【確かな学力、資質・能力の育成に向けて】

来年度完全実施となる新学習指導要領では、育成をめざす資質・能力を明確にし、系統性、連続性のある教育課程を編成、実施、評価、改善していくことが求められています。本校でも現在行っている教育活動を検証するとともに、都田西小学校の子ども達の今の姿を共有し、学校教育目標、教育課程を「育成をめざす資質・能力」を柱として具体化すべく進めています。

先日は、本校の子ども達の「よさ」と「めざす姿」を主題とする教職員による話合いの時間をもちました。この話合いでは、本校の子ども達が全体的にみると素直で、相手と助け合いながら仲良くしたいと考えており、成功体験があればしっかりと意欲的に取り組み、自分からも積極的に発信することができること、協働することの良さを自覚していて行動につなげることができることなどがあげられました。

同時に、あいさつ、言葉づかい、約束を守ること、集中力、粘り強さ、相手に伝える力、相手の気持ちを想像する力、多様性を尊重する気持ち、語彙（ごい）力など、育てていかなければならないと考える力についても共有いたしました。

今後、これらの教職員の見取り、学力・学習状況調査の結果、学校評価などをふまえ、教育課程を編成して参ります。

前期後半も、一人一人のお子さんが安心して安全に過ごし、確かな学びを通して成長していくことができるよう授業改善に努めるとともに、自信をもって自分を表現することができるように自己肯定感を高めることを意識した指導を工夫するなど、丁寧に教育活動を進めて参ります。

引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。